

活機能に及ぼす影響. 第53回日本老年医学会学術集会, 東京, 2011年6月16日.

大矢敏久, 島田裕之, 牧迫飛雄馬, 土井剛彦, 吉田大輔, 鈴木隆雄, 内山靖. 手段的日常生活活動の自立した地域在住高齢者の転倒恐怖感と関連する要因の検討. 第46回日本理学療法学術大会, 宮崎, 2011年5月29日.

鈴木芽久美, 島田裕之, 田村雅人, 鈴木隆雄. 要介護高齢者における主観的転倒リスク評価 (SRRST) の有用性. 第46回日本理学療法学術大会, 宮崎, 2011年5月27日.

吉田大輔, 島田裕之, 牧迫飛雄馬, 土井剛彦, 鈴木隆雄. 近赤外線分光法 (NIRS) を用いた高齢者の四肢筋量ならびに脂肪量の推定. 第1回日本基礎理学療法学会学術集会, 宮崎, 2011年5月26日.

大淵修一, 辻一郎, 安村誠司, 成川衛, 鈴木隆雄. 整形外科疾患対策を含む介護予防運動器の機能向上プログラムの効果無作為化比較対照試験による検討. 第46回日本理学療法学術大会, 宮崎, 2011年5月27-29日.

Obuchi S, Suzuki T. Effect of therapeutic approach for prevention of knee and low back pain. 16th International WCPT Congress, Amsterdam Holland, 2011.6.20-23.

Obuchi S. Importance of physical activity

measurement and promotion to prevent frailty and geriatric syndrome. In symposium: Global physical activity transitions: emerging measurement and therapeutic opportunity? 16th International WCPT Congress, Amsterdam Holland, 2011. 6.20-23.

吉田英世, 吉田祐子, 熊谷修, 木村美佳, 岩佐一, 鈴木隆雄. 地域在住高齢者のQOLに影響をもたらす要因の解明 - WHO-5による評価 -. 第70回日本公衆衛生学会, 秋田, 2011年10月19-21日.

金憲経, 吉田英世, 吉田祐子, 齋藤京子, 小林成実, 平野造彦, 島田裕之, 鈴木隆雄. 地域在住高齢者における膝痛の実態及び生活機能との関連性について. 第53回日本老年医学会学術集会, 東京, 2011年6月15-17日.

金憲経. サルコペニア予防のための包括的介入. 第53回日本老年医学会学術集会, 東京, 2011年6月15-17日.

Kim H, Yoshida H, Yoshida Y, Saito K, Kojima N, Kim M, Hirano H, Suzuki T. Prevalence and factors associated with urinary incontinence in community-dwelling elderly Japanese men. Annual Meeting of the International Continence Society, Glasgow, UK, 2011.8.29-9.2.

金憲経, 小島成実, 齋藤京子, 吉田祐子, 吉田英世, 平野浩彦, 金美芝, 山城由華吏, 須藤元喜, 鈴木隆雄. 地域在住膝痛

高齢者を対象とした運動介入の効果検証
(1) 一体力変化介入の効果検証 (1) 一
体力変化. 第 70 回日本公衆衛生学会, 秋
田, 2011 年 10 月 19-21 日.

金憲経. サルコペニアとロコモティブシ
ンドローム. 第 48 回日本リハビリテーシ
ョン医学会学術集会, 千葉, 2011 年 11 月
2-3 日.

金憲経. サルコペニア予防のための包括
的介入. 第 18 回日本未病システム学会学
術総会, 名古屋, 2011 年 11 月 19-20 日.

Kim H. Prevention strategy for sarcopenia:
Effects of exercise and nutrition
supplementation. The 3rd Asian
International Seminar for Geriatrics and
Gerontology. Seoul, Korea, 2012.1.14.

松井康素, 竹村真理枝, 原田敦, 安藤富
士子, 下方浩史. ロコモティブシンドロ
ームのチェック項目の妥当性の検討〜ロ
コモティブシンドロームのチェックの有無による各種運動能力の
比較. 日本整形外科学会, 京都, 2012 年 5
月 9 日.

下方浩史. 疫学研究からのサルコペニア
とそのリスクー特に栄養との関連. 疫学
研究からのサルコペニアとそのリスクー
特に栄養との関連. シンポジウム「高
齢者の「サルコペニア」ならびに「虚弱」
とその対策」. 第 54 回日本老年医学会学
術総会, 東京, 2012 年 6 月 26 日.

下方浩史. 検査基準値の考え方ー医学に

おける正常と異常ーシンポジウム「生活
自立を指標とした生活習慣病の検査基準
値」. 第 54 回日本老年医学会学術総会,
東京, 2012 年 6 月 27 日.

杉浦彩子, 内田育恵, 中島務, 新野直明,
李成喆, 安藤富士子, 下方浩史. 地域在
住中高齢者の難聴と転倒, 重心動揺との
関連. 第 54 回日本老年医学会学術総会,
東京, 2012 年 6 月 27 日.

松井康素, 竹村真里枝, 原田敦, 安藤富
士子, 小坂井留美, 下方浩史. ロコモテ
ィブシンドローム (ロコモ) とサルコペ
ニアの関連. 第 54 回日本老年医学会学術
総会, 東京, 2012 年 6 月 27 日.

松井康素, 竹村真里枝, 原田敦, 安藤富
士子, 李成喆, 下方浩史. 地域在住中高
齢者の膝関節痛と膝伸展筋力の関連. 第
4 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科
学会総会, 宜野湾, 2012 年 7 月 19 日.

下方浩史. 中高年者の栄養と運動ー長期
縦断疫学研究から. シンポジウム「成人
向け保健指導とヘルスプロモーション」.
第 60 回日本教育医学会記念大会, 筑波,
2012 年 8 月 26 日.

幸篤武, 李成喆, 小坂井留美, 金興烈, 安
藤富士子, 下方浩史. 中高年男性におけ
る余暇身体活動強度と血清遊離テストス
テロン濃度の関連. 第 67 回日本体力医学
会大会, 岐阜, 2012 年 9 月 15 日.

金興烈, 李成喆, 幸篤武, 小坂井留美, 安

藤富士子, 下方浩史. 中高年齢者の歩幅と歩調に影響を与える関連要因. 第67回日本体力医学会大会, 岐阜, 2012年9月15日.

小坂井留美, 安藤富士子, 金興烈, 李成喆, 幸篤武, 下方浩史. 運動経験のない中高年齢者における運動習慣開始の要因. 第67回日本体力医学会大会, 岐阜, 2012年9月14日.

河合恒, 大淵修一, 吉田英世, 平野浩彦, 小島基永, 藤原佳典, 井原一成. 地域在住高齢者の大腿四頭筋の質の超音波エコー強度による評価. 第67回日本体力医学会, 岐阜, 2012年9月14-16日

松井康素, 竹村真里枝, 原田敦, 安藤富士子, 下方浩史. ロコモティブシンドロームチェック項目とSF-36身体機能との関連. 第14回日本骨粗鬆症学会, 新潟, 2012年9月29日.

下方浩史. 健康長寿社会を築く長期縦断疫学研究, 特別講演, 第19回日本未病システム学会総会, 金沢, 2012年10月27日.

大淵修一. 生活環境支援を考える上でのエビデンスと活動 ここまで解っている・ここまで取り組んでいる 転倒骨折予防のための取り組みに関する理論的根拠と実践. 第47回日本理学療法学会, 兵庫, 2012年5月25-27日.

吉田英世, 児玉寛子, 吉田祐子, 鈴木隆

雄. 地域在住高齢者における骨折経験が健康関連 QOL に及ぼす影響. 第71回日本公衆衛生学会, 山口, 2012年10月24-26日.

Kim H, Suzuki T, Saito K, Kojima N, Kim M, Yoshida Y, Hirano H, Yoshida H. Exercise and thermal therapy for community-dwelling Japanese elderly women with chronic knee pain: A randomized controlled trial. American Geriatrics Society Annual Scientific Meeting, Seattle, WA, USA, 2012.5.2-5.

Kim MJ, Kim H, Kojima N. Exploring physical activity patterns on body composition phenotypes of sarcopenia and obesity in older adults. The 59th Annual Meeting of American College of Sports Medicine, San Francisco, 2012.5.28-6.2.

金憲経. サルコペニア・虚弱への介入研究. 第54回日本老年医学会学術集会・総会, 東京, 2012年6月28-30日.

金憲経. 転倒予防と膝痛予防. 第155回日本体力医学会関東地方会, 横浜, 2012年7月7日.

金憲経. 高齢者の元気長寿支援—廃用症候群の早期予防の視点から—. 第60回日本教育医学会記念大会, 茨城, 2012年8月25-26日.

Kim H. Intervention for chronic knee pain in community-dwelling elderly Japanese

women. The 4th Asian International Seminar for Geriatrics and Gerontology, Tokyo, Japan, 2012.9.14.

Kim H. State of research on and tasks of public health organizations for the health of the elderly. International Symposium for Public Health, Seoul, Korea, 2012.10.1.

Kim H., Yoshida H., Hu X, Saito K, Yoshida Y, Kim M, Kojima N, Hirano H, Suzuki T. Association between urinary incontinence and pain in community-dwelling elderly women. 42nd Annual Meeting of the International Continence Society, Beijing, China, 2012.10.15-19.

金憲経, 小島成実, 金美芝, 山城由華吏, 須藤元喜, 吉田英世, 齋藤京子, 吉田祐子, 平野浩彦, 鈴木隆雄. 膝痛高齢者を対象に実施した運動及び温熱療法の効果検証 (1) — 体力に及ぼす影響 —. 第 71 回日本公衆衛生学会総会, 山口, 2012 年 10 月 24-26 日.

小島成実, 金憲経, 金美芝, 山城由華吏, 須藤元喜. 膝痛高齢者を対象に実施した運動及び温熱療法の効果検証 (2) — JCOM による評価 —. 第 71 回日本公衆衛生学会総会, 山口, 2012 年 10 月 24-26 日.

須藤元喜, 山城由華吏, 小島成実, 金美芝, 金憲経. 膝痛高齢者を対象に実施した運動及び温熱療法の効果検証 (2) — 歩行解析を中心に —. 第 71 回日本公衆衛生学会総会, 山口, 2012 年 10 月 24-26 日.

小林修, 林悠太, 波戸真之介, 鈴木芽久美, 石本麻友子, 今田樹志, 秋野徹, 島田裕之. 独居高齢者の在宅生活継続に重要な生活機能. 第 48 回日本理学療法学会大会, 名古屋, 2013 年 5 月 24 日.

阿南祐也, 吉田大輔, 牧迫飛雄馬, 島田裕之, 朴眩泰, 土井剛彦, 堤本広大, 上村一貴, 李相侖, 伊藤忠, 鈴木隆雄. 地域在住高齢者における虚弱評価の再考. 要介護認定および転倒と虚弱の各構成要素との関連. 第 48 回日本理学療法学会大会, 名古屋, 2013 年 5 月 24 日.

吉田大輔, 阿南祐也, 伊藤忠, 島田裕之, 牧迫飛雄馬, 朴眩泰, 李相侖, 土井剛彦, 堤本広大, 上村一貴, 鈴木隆雄. 生体インピーダンス値によって高齢者の四肢筋量を推定する回帰式の作成. 第 48 回日本理学療法学会大会, 名古屋, 2013 年 5 月 24 日.

牧迫飛雄馬, 島田裕之, 吉田大輔, 阿南祐也, 伊藤忠, 土井剛彦, 堤本広大, 上村一貴, Brach Jennifer, 朴眩泰, 李相侖, 鈴木隆雄. 日本語版一改訂 Gait Efficacy Scale の信頼性および妥当性. 第 48 回日本理学療法学会大会, 名古屋, 2013 年 5 月 25 日.

波戸真之介, 林悠太, 石本麻友子, 今田樹志, 小林修, 秋野徹, 鈴木芽久美, 島田裕之. 要介護高齢者における認知機能の低下が運動機能の変化に及ぼす影響の検討. 第 48 回日本理学療法学会大会, 名古屋, 2013 年 5 月 25 日.

屋, 2013 年 5 月 25 日.

伊藤忠, 島田裕之, 吉田大輔, 牧迫飛雄馬, 阿南祐也, 土井剛彦, 堤本広大, 上村一貴, 朴眩泰, 李相命, 鈴木隆雄. 地域在住高齢者における転倒経験者と非経験者の近赤外線分光法(NIRS)を利用した筋量評価. 第 48 回日本理学療法学術大会, 名古屋, 2013 年 5 月 25 日.

石本麻友子, 林悠太, 鈴木芽久美, 波戸真之介, 今田樹志, 小林修, 秋野徹, 島田裕之. 世帯構成からみた要介護高齢者の心身機能の特徴. 第 48 回日本理学療法学術大会, 名古屋, 2013 年 5 月 25 日.

平井達也, 島田裕之, 牧公子, 梅木将史, 関谷真紀子, 壹岐英正, 岩田容子. 施設入所高齢者の移乗による転倒要因調査に関する多施設間研究. 転倒回避能力評価の有用性. 第 48 回日本理学療法学術大会, 名古屋, 2013 年 5 月 26 日.

鈴木芽久美, 林悠太, 金谷勇歩, 島田裕之. 転倒による下肢骨折者における 1 年半後の歩行能力に影響を及ぼす要因. 第 48 回日本理学療法学術大会, 名古屋, 2013 年 5 月 26 日.

林悠太, 鈴木芽久美, 波戸真之介, 石本麻友子, 今田樹志, 秋野徹, 小林修, 島田裕之. 要介護高齢者における排泄関連動作の低下と心身機能との関連. 第 48 回日本理学療法学術大会, 名古屋, 2013 年 5 月 26 日.

今田樹志, 波戸真之介, 鈴木芽久美, 林悠太, 石本麻友子, 小林修, 秋野徹, 島田裕之. 要介護高齢者における上下肢機能と ADL との関連. 第 48 回日本理学療法学術大会, 名古屋, 2013 年 5 月 26 日.

秋野徹, 波戸真之介, 鈴木芽久美, 林悠太, 石本麻友子, 今田樹志, 小林修, 島田裕之. 要介護高齢者の介護度の悪化に影響を及ぼす要因の検討～4212 名を対象とした 2 年間の追跡調査～. 第 48 回日本理学療法学術大会, 名古屋, 2013 年 5 月 26 日.

原田敦. 骨粗鬆症と転倒リスクから考える骨折予防. 高知県整形外科医会学術講演会, 高知, 2013 年 4 月 11 日.

原田敦. 大腿骨近位部骨折健側の骨補強法開発. 第 39 回日本骨折治療学会, 久留米, 2013 年 6 月 29 日.

原田敦. 加齢に伴う骨と筋肉の減少－骨粗鬆症とサルコペニア－. 第 20 回記念日本脊椎・脊髄神経手術手技学会学術集会 “前田利家”ランチョンセミナー, 名古屋, 2013 年 9 月 6 日.

原田敦. 転倒と骨折の予防. 第 3 回知多 Primary Care 研究会, 半田, 2013 年 9 月 19 日.

原田敦. 転倒予防を視野に入れた骨粗鬆症治療. 転倒予防医学研究会第 10 回研究集会 ランチョンセミナー2 転倒・骨折予防のために 治療からシームレスなケア

を、東京、2013年10月6日。

原田敦、松井康素、酒井義人、竹村真里枝、笠井健広、伊藤定之、根本哲也、萩野浩。大腿骨近位部骨折対側の骨補強法開発：骨粗鬆症の手術療法の試み。第15回日本骨粗鬆症学会、大阪、2013年10月11日。

原田敦、松井康素、酒井義人、竹村真里枝。アレンドロネートには筋量も増加させる可能性がある。第15回日本骨粗鬆症学会、大阪、2013年10月12日。

原田敦。加齢に伴う筋肉減少症ーサルコペニアの現況ー。第3回運動器抗加齢医学研究会、東京、2013年11月16日。

原田敦。サルコペニアの現状ーロコモティブシンドロームや虚弱との関連も含めてー。第28回日本臨床リウマチ学会、千葉、2013年12月1日。

原田敦。サルコペニアの現状と今後。三重県医師会 スポーツ医学研修会、津、2014年2月2日。

根本哲也、久保田怜、原田敦。骨補強効果のコンピュータシミュレーションによる評価。第8回日本CAOS研究会、横浜、2014年3月7日。

大淵修一。歩行時の膝動揺性とJKOM得点との関係。第48回日本理学療法学会、愛知、2013年5月24-26日。

新井武志、大淵修一、小島成実、河合恒。介護予防の2次予防事業参加者の身体機能と健康関連QOLなどの精神心理的評価との関連。第48回日本理学療法学会、愛知、2013年5月24-26日。

河合恒、大淵修一、光武誠吾、吉田英世、平野浩彦、小島基永、藤原佳典、井原一成。超音波画像による大腿前面筋エコー強度と運動器の機能低下リスクとの関係。第48回日本理学療法学会、愛知、2013年5月24-26日。

新井武志、大淵修一、小島成実、河合恒。運動器の機能向上プログラムが地域在住虚弱高齢者の精神心理面に及ぼす効果について。第72回日本公衆衛生学会総会、三重、2013年10月23-25日。

吉田英世、金憲経、小島成実、吉田祐子、齋藤京子、金美芝、平野浩彦、岩佐一、島田裕之、鈴木隆雄。地域在住高齢者の基礎的運動能力からみた要介護化の危険因子の検討。第72回日本公衆衛生学会総会、三重、2013年10月23-25日。

G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

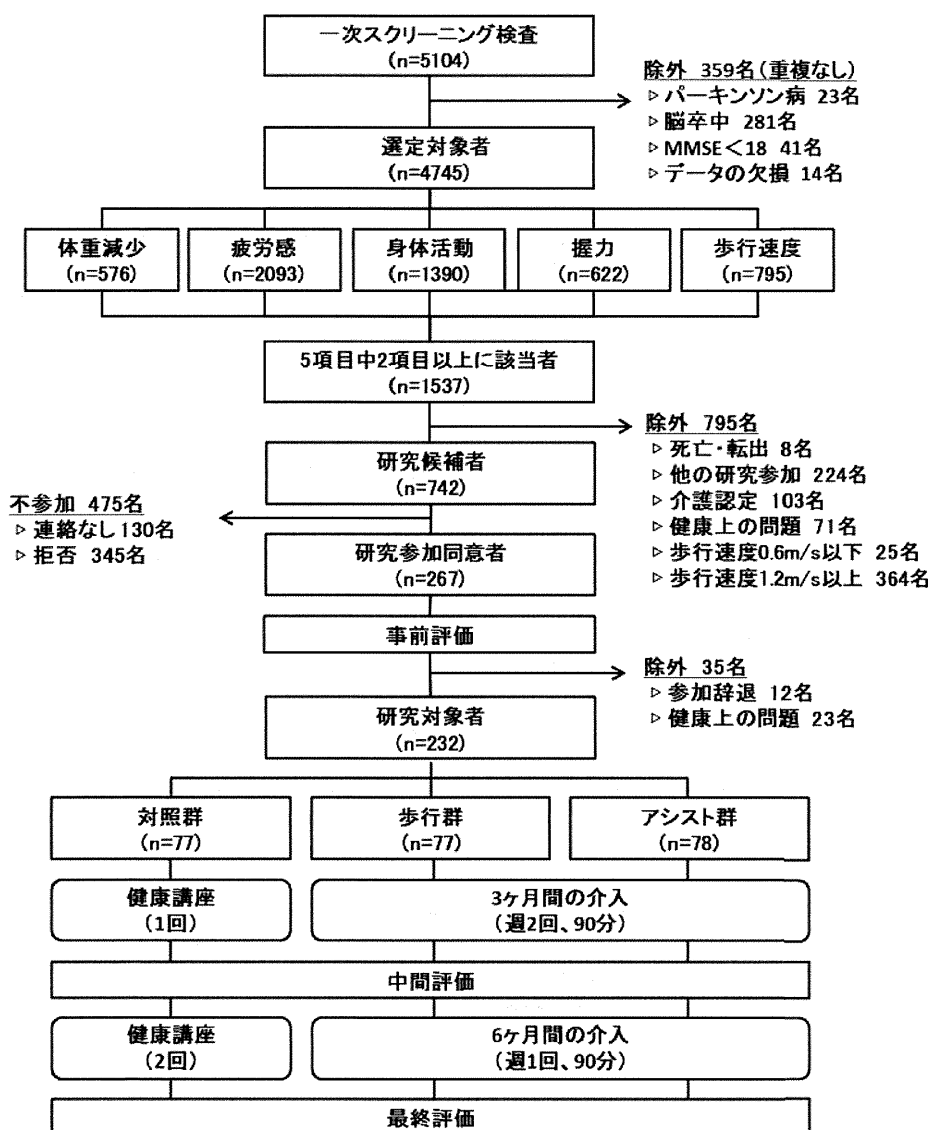


図 1 虚弱高齢者の介入フロー

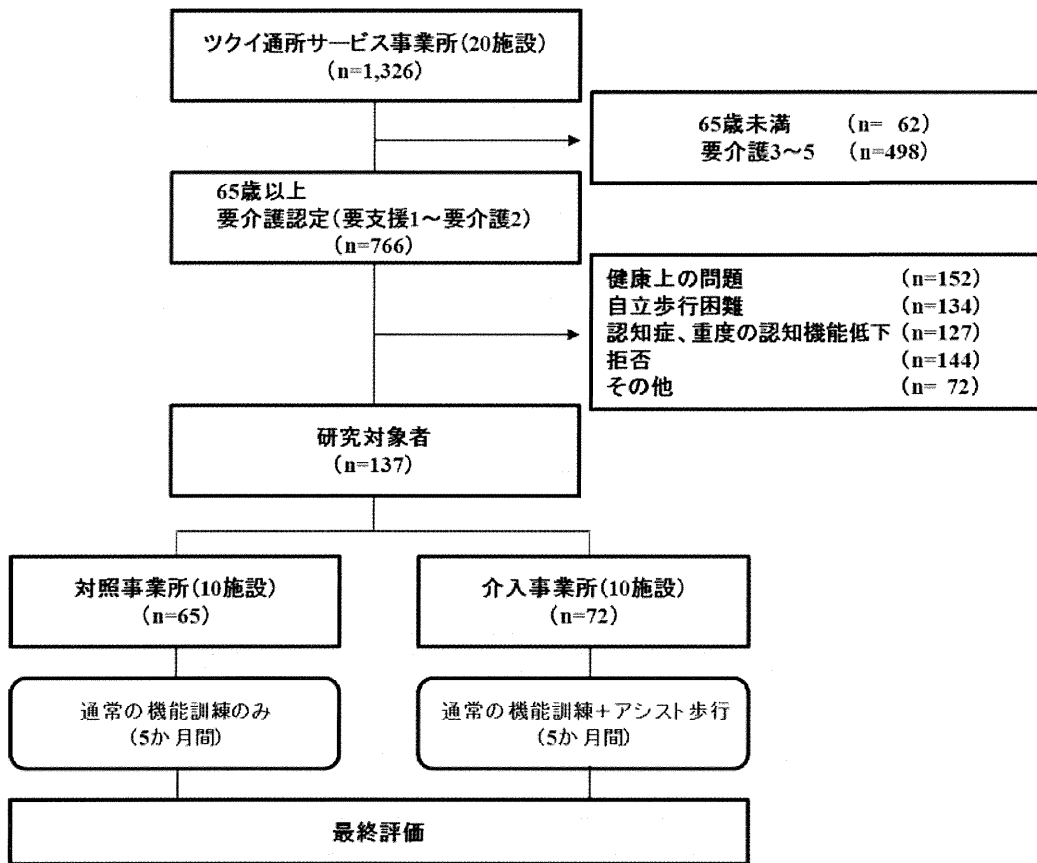
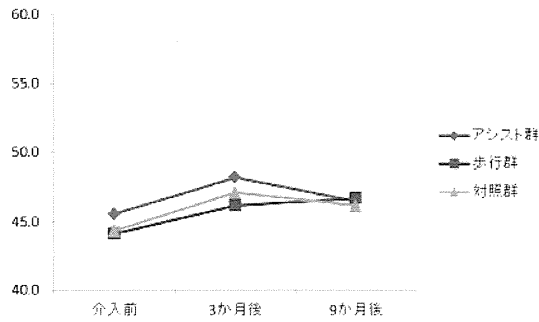
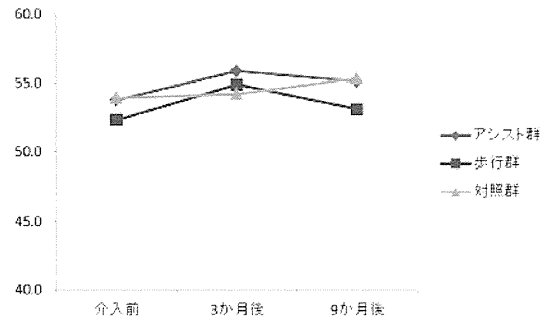


図 2 要介護認定者の介入フロー

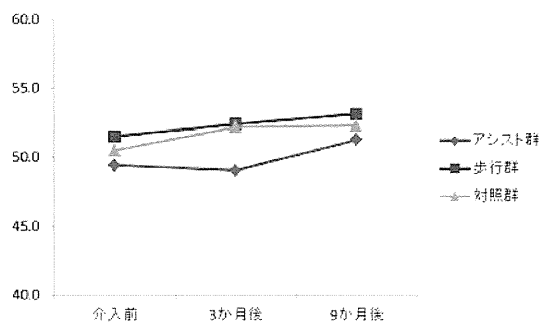
身体的 QOL (score)



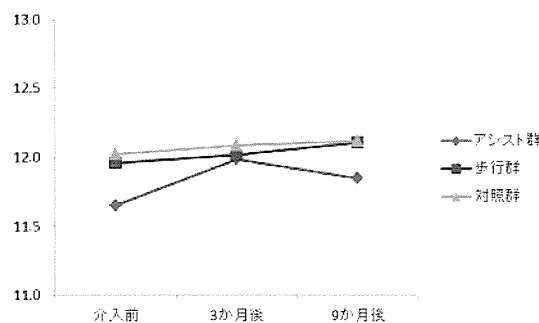
精神的 QOL (score)



社会的 QOL (score)



TMIG_総得点 (score)



TMIG 手段的自立 (score)

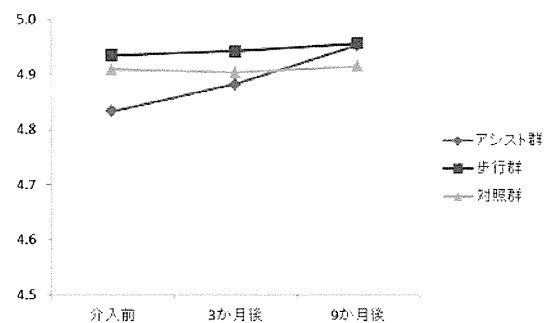
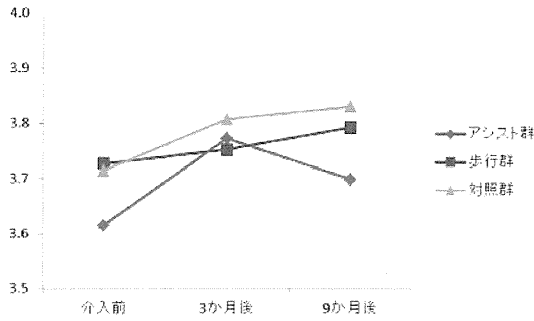
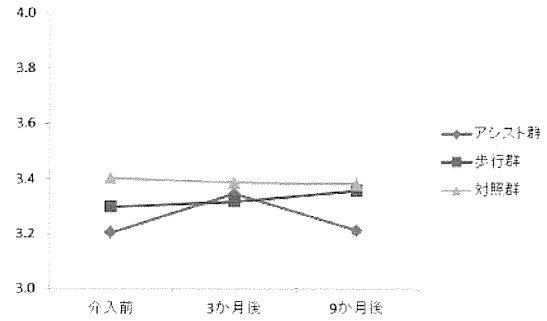


図3 虚弱高齢者におけるアシスト歩行の介入効果
(QOL と生活機能の比較 part.1)

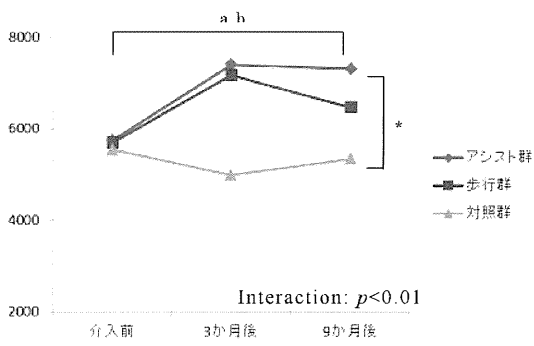
TMIG 知的能動性 (score)



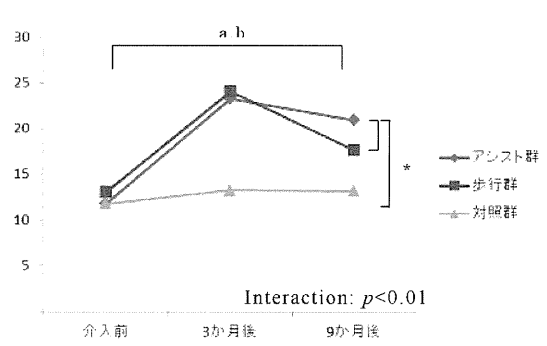
TMIG 社会的役割 (score)



歩数 (step/day)



中強度活動時間 (min/day)



不活動時間 (min/day)

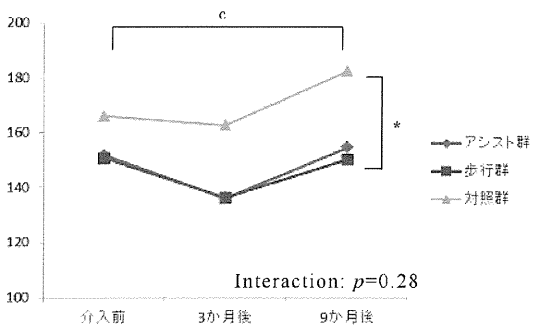
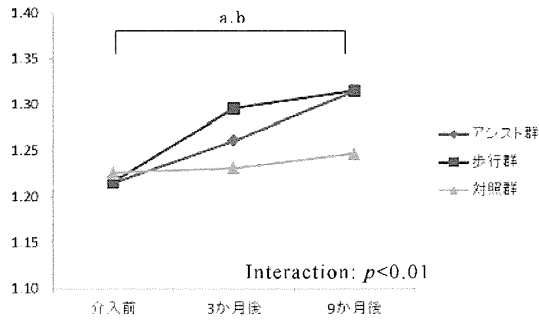
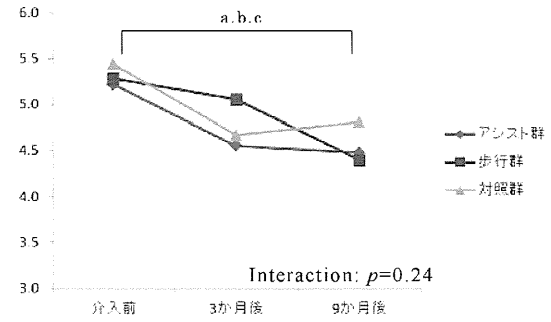


図4 虚弱高齢者に対するアシスト歩行の介入効果
(QOL と生活機能の比較 part.2)

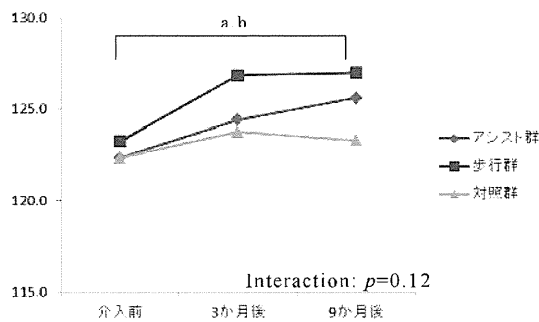
歩行速度 (m/s)



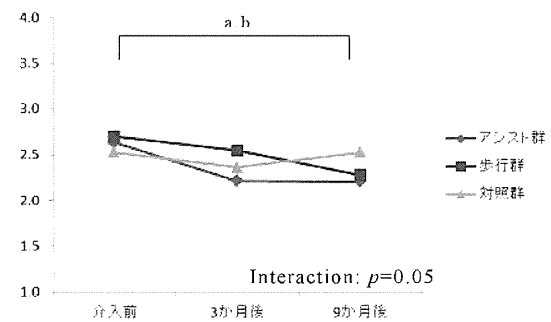
歩行速度の変動係数



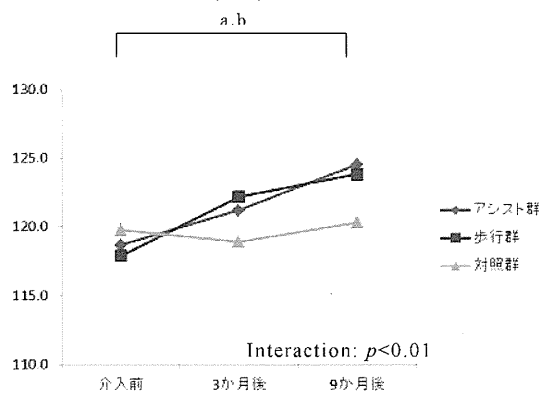
ケーデンス (step/min)



ケーデンスの変動係数



ストライド長 (cm)



ストライド長の変動係数

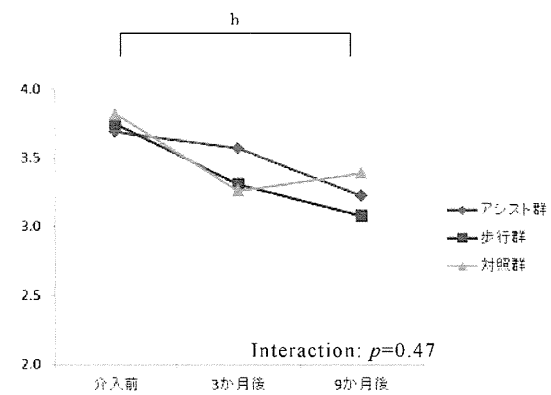
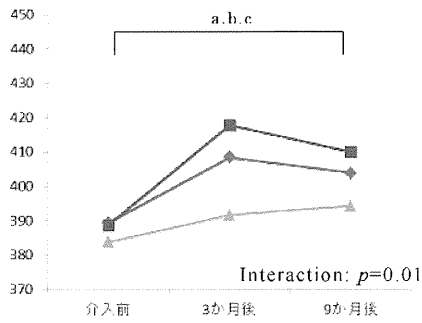
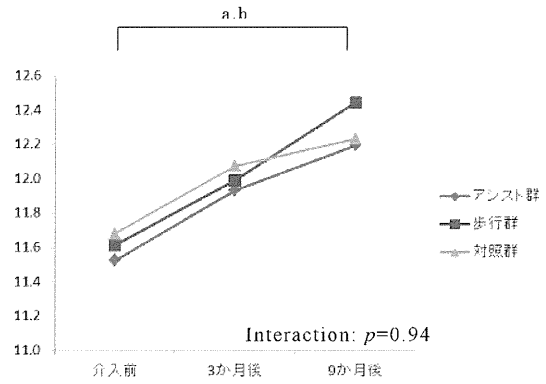


図5 虚弱高齢者に対するアシスト歩行の介入効果
(歩行速度、ケーデンス、ストライド長とその変動係数の比較)

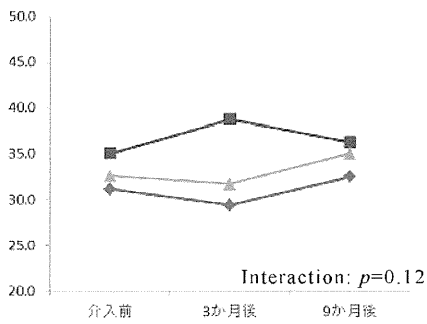
6 分間歩行距離 (m)



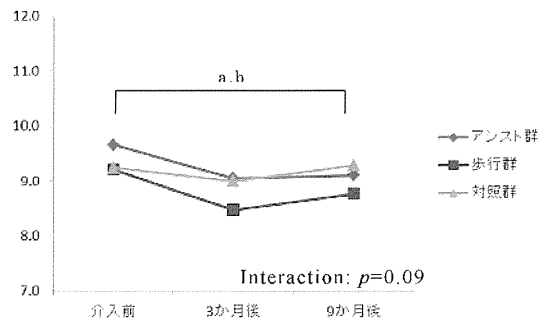
歩行効率 (ml/kg/m)



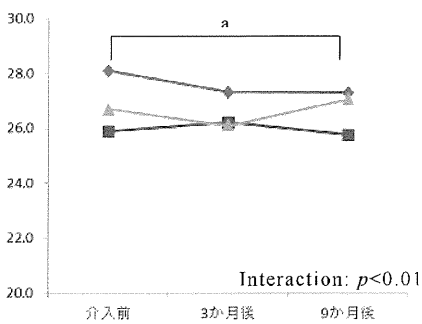
開眼片足立ち (sec)



Timed up & go test (sec)



握力 (kg)



椅子起立時間 (sec)

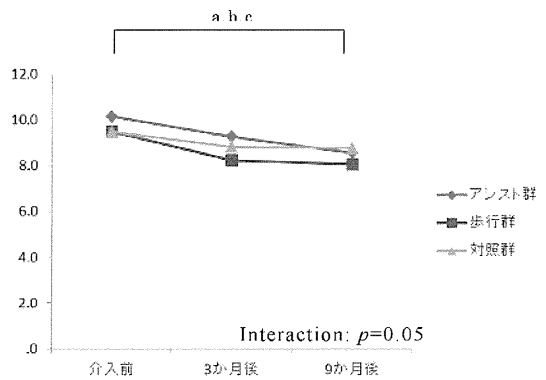
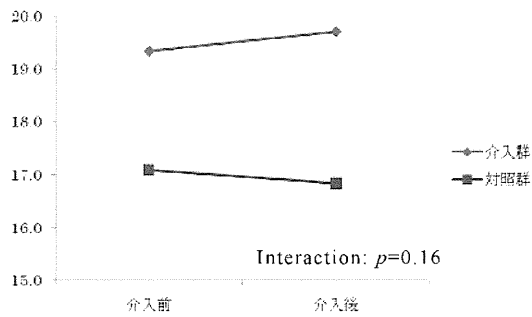
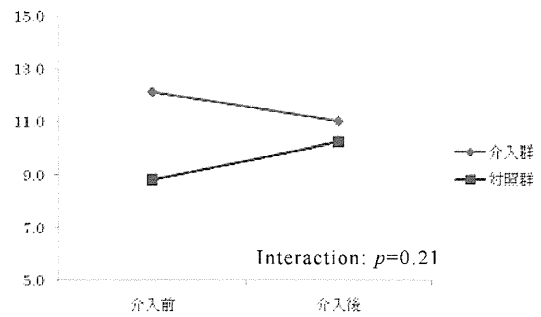


図 6 虚弱高齢者に対するアシスト歩行の介入効果
(運動機能と歩行効率の比較)

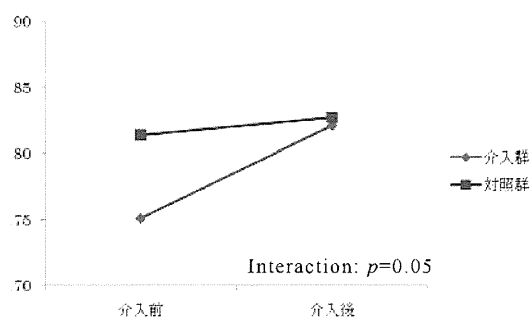
握力 (kg)



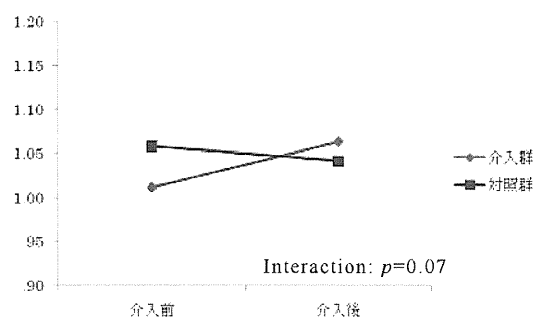
開眼片足立ち時間 (sec)



通常歩行速度 (m/s)



最大歩行速度 (m/s)



Dinamic gait index (score)

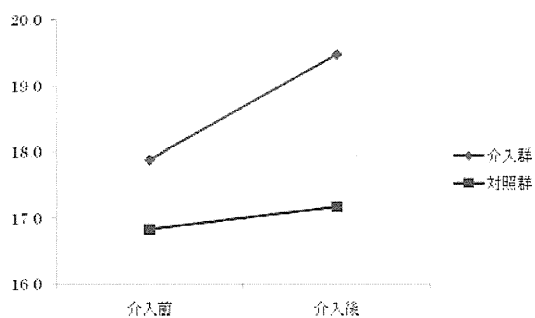


図 7 要介護高齢者に対するアシスト歩行の介入効果

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
鈴木隆雄	サルコペニア予防の重要性	監修／鈴木隆雄 編集／島田裕之	サルコペニアの基礎と臨床	真興交易	東京	2011	2-9
島田裕之	サルコペニアの操作的定義	監修／鈴木隆雄 編集／島田裕之	サルコペニアの基礎と臨床	真興交易	東京	2011	12-21
原田敦	臨床におけるサルコペニアの診断"	監修／鈴木隆雄 編集／島田裕之	サルコペニアの基礎と臨床	真興交易	東京	2011	64-71
下方浩史, 安藤富士子	サルコペニアのスクリーニング指標	監修／鈴木隆雄 編集／島田裕之	サルコペニアの基礎と臨床	真興交易	東京	2011	72-80
金憲経, 吉田英世	高齢者におけるサルコペニアの発見と対処法の構築	監修／鈴木隆雄 編集／島田裕之	サルコペニアの基礎と臨床	真興交易	東京	2011	106-114
鈴木芽久美, 島田裕之	サルコペニアと障害高齢者	監修／鈴木隆雄 編集／島田裕之	サルコペニアの基礎と臨床	真興交易	東京	2011	133-139
原田敦, 松井康素, 下方浩史	認知症高齢者と骨粗鬆症との関連は	監修／転倒予防医学研究会 編集／武藤芳照, 鈴木みづえ"	認知症者の転倒予防とリスクマネジメントー病院・施設・自宅でのケアー	日本医事新報社	東京	2011	51-54

原田敦	第4章大腿骨頸部 ／転子部骨折の 予防	日本整形外 科学会診療 ガイドライ ン委員会 大腿骨頸部 ／転子部骨 折診療ガイ ドライン策 定委員会	大腿骨頸部 ／転子部骨 折診療ガイ ドライン改 訂第2版	南江堂	東京	2011	48-59
原田敦	運動器疾患	葛谷雅文, 鈴木裕介	症状から学 ぶ医療知識	中央法規	東京	2012	186-194
Shimada H	Glucose uptake during exercise in skeletal muscles evaluated by positron emission tomography	Chia-Hung Hsieh	Positron Emission Tomography - Current Clinical and Research Aspects	InTech	Croatia	2012	319-336
Kim H	Behavioral treatment for geriatric syndrome	Craig Atwood Edit	Geriatrics	InTech	Croatia	2012	85-104
金憲経	I. 転倒リスク評 価—歩行速度—, —環境因子—; III. 転倒予防—運動—	鳥羽研二	高齢者の転倒 予防ガイドラ イン	Medical View	東京	2012	17-19 38-42 119-122
大久保善 郎, 金憲 経	III. 介護予防編 6. 転倒予防に向けた エクササイズ	田中喜代次, 田畑泉	エクササイズ 科学	文光堂	東京	2012	245-256
金憲経	複合介入	西谷誠	サルコペニア —その成因と 運動・栄養	医歯薬出 版株式会 社	東京	2013	140-146
松井康素, 原田敦	関節疾患、ロコモ ティブシンドロ ーム	日本老年医 学会	老年医学 系統講義テ キスト	日本老年 医学会	東京	2013	245-249

島田裕之	Part-6 その他の介入法: 運動	葛谷雅文, 雨海照祥	栄養・運動で予防するサルコペニア	医歯薬出版株式会社	東京	2013	134-139
幸篤武, 安藤富士子, 下方浩史	概念・定義・疫学—Q.3 罹患の実態について教えてください	関根里恵, 小川純人	サルコペニア 24 のポイント	フジメデューカル出版	大阪	2013	17-21
安藤富士子, 下方浩史	病態生理—Q.4 サルコペニア高齢者の特徴は? (遺伝子, 性差, 原疾患, 生活習慣など)	関根里恵, 小川純人	サルコペニア 24 のポイント	フジメデューカル出版	大阪	2013	22-26
島田裕之, 吉田大輔	サルコペニアの診断—Q.8 サルコペニアの診断基準はありますか	関根里恵, 小川純人	サルコペニア 24 のポイント	フジメデューカル出版	大阪	2013	42-46
金憲経	サルコペニアの診断—Q.10 診断のための臨床症候について教えてください	関根里恵, 小川純人	サルコペニア 24 のポイント	フジメデューカル出版	大阪	2013	52-56
Kim H	Behavioral therapy for urinary incontinence.	Eric Chung	Urinary Incontinence: Causes, Epidemiology	Nova Science Publishers Inc	New York	2013	71-88
原田敦	ヒッププロテクターの使用評価状況	井上剛伸	ヒトの運動機能と移動のための次世代技術開発	エヌ・ティー・エス	東京	2014	69-72

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Kim H, Suzuki T, Yoshida H	The effects of multidimensional exercise on functional decline, urinary incontinence, and fear of falling in community-dwelling elderly women with multiple symptoms of geriatric syndrome: A randomized controlled and 6-month follow-up trial	Arch Gerontol Geriatr	52	99-105	2011
Shimada H, Suzukawa M, Ishizaki T, Kobayashi K, Kim H, Suzuki T	Relationship between subjective fall risk assessment and falls and fall – related fractures in frail elderly people	BMC Geriatr	11	40	2011
Sakuma M, Endo N, Hagino H, Harada A, Matsui Y, Nakano T, Nakamura K	Serum 25-hydroxyvitamin D status in hip and spine-fracture patients in Japan	J Orthop Sci	16	418-423	2011
Doyo W, Kozakai R, Kim H-Y, Ando F, Shimokata H	Spatio-temporal components of the three-dimensional gait analysis of community-dwelling middle-aged and elderly Japanese: age- and sex-related differences	Geriatr Gerontol Int	11	39-49	2011
Kuzuya M, Enoki H, Hasegawa J, Izawa S, Hirakawa Y, Shimokata H, Iguchi A	Impact of caregiver burden on adverse health outcomes in community-dwelling dependent older care recipients	Am J Geriatr Psych	19	382-391	2011
Sugiura M, Nakamura M, Ogawa K, Ikoma Y, Ando F, Shimokata H, Yano M	Dietary patterns of antioxidant vitamin and carotenoid intake associated with bone mineral density: findings from post-menopausal Japanese female subjects	Osteoporosis Int	22	143-152	2011

<u>Shimada H, Tiedemann A, Lord SR, Suzukawa M, Makizako H, Kobayashi K, Suzuki T</u>	Physical factors underlying the association between lower walking performance and falls in older people: a structural equation model	Arch Gerontol Geriatr	53	131-134	2011
<u>Suzukawa M, Shimada H, Tamura M, Suzuki T, Inoue N</u>	The relationship between the subjective risk rating of specific tasks and falls in frail elderly people	J Phys Ther Sci	23	425-429	2011
<u>Abe T, Suzuki T, Yoshida H, Shimada H, Inoue N</u>	The relationship between pulmonary function and physical function and mobility in community-dwelling elderly women aged 75 years or older	J Phys Ther Sci	23	443-449	2011
<u>Hasidate H, Shimada H, Shiomi T, Sasamoto N</u>	Usefulness of the subjective risk rating of specific tasks for falling in frail elderly people	J Phys Ther Sci	23	519-524	2011
<u>Kim H, Yoshida H, Suzuki T</u>	The effects of multidimensional exercise treatment on community-dwelling elderly Japanese women with stress, urge, and mixed urinary incontinence: a randomized controlled trial	Int J Nurs Stud	48	1165-1172	2011
<u>Kim H, Yoshida H, Suzuki T</u>	Effects of exercise treatment with or without heat and steam generating sheet on urine loss in community-dwelling Japanese elderly women with urinary incontinence	Geriatr Gerontol Int	11	452-459	2011
<u>Shimada H, Sturnieks D, Endo Y, Kimura Y, Suzuki T, Oda K, Ishii K, Ishiwata K</u>	Relationship between whole body oxygen consumption and skeletal muscle glucose metabolism during walking in older adults: FDG PET study	Aging Clin Exp Res	23	175-182	2011

鈴木芽久美, 島田裕之, 渡辺修一郎, 小林久美子, 鈴木隆雄	要介護高齢者における運動機能と6ヶ月後のADL低下との関係	理学療法学	38	10-16	2011
鈴木隆雄, 島田裕之, 清水容子, 吉田英世	地域在住の女性後期高齢者における血中ビタミンD濃度と転倒発生に関する縦断研究	Osteoporosis Japan	19	97-100	2011
鈴木隆雄	転倒の疫学と予防対策ーロコモティブシンドロームの視点から	医学のあゆみ	236	325-331	2011
仲貴子, 及川清志, 平田崇, 荒木友希, 鈴木隆雄	装着型歩行アシストロボットによる歩行トレーニング	PTジャーナル	45	163-170	2011
牧迫飛雄馬, 古名丈人, 島田裕之, 赤沼智美, 吉田裕人, 井平光, 横山香理, 鈴木隆雄	後期高齢者における新規要介護認定の発生と5m歩行時間との関連: 39か月間の縦断研究.	理学療法学	38	27-33	2011
水本淳, 鈴木芽久美, 牧迫飛雄馬, 土井剛彦, 島田裕之	ステップエルゴメーターのアイソキネティック運動におけるピークパワーと身体機能との関連	理学療法科学	26	139-142	2011
原田敦	サルコペニアの定義, 診断基準 サルコペニアの診かた	Modern Physician	31	1279-1282	2011
下方浩史, 安藤富士子	サルコペニアの疫学	Modern Physician	31	1283-1287	2011
島田裕之	筋力と身体活動の評価法	Modern Physician	31	1296-1299	2011
島田裕之, 吉田大輔	虚弱とサルコペニア(概念の相違)	Geriat. Med	49	291-295	2011
下方浩史, 安藤富士子	虚弱の危険因子、高齢者の虚弱ー評価と対策ー	Geriat. Med	49	303-306	2011
鈴木隆雄	超高齢社会の実像を踏まえた健康福祉政策	公衆衛生	75	266-271	2011

鈴木隆雄	加齢と身体機能の変化	臨床栄養	118	552-560	2011
鈴木隆雄	加齢性筋肉減少症（サルコペニア）の診断と治療	総合臨床	60	2320-2322	2011
Saito K, Yokoyama T, Yoshida H, Kim H, Shimada H, Yoshida Y, Iwasa H, Shimizu Y, Kondo Y, Honda S, Maruyama N, Ishigami A, Suzuki T	A significant relationship between plasma vitamin C concentration and physical performance among Japanese elderly women	J Gerontol A Biol Sci Med Sci	67(3)	295-301	2012
Kim H, Suzuki T, Saito K, Yoshida H, Kobayashi H, Kato H, Katayama M	Effects of exercise and amino-acid supplementation on body composition and physical function in community-dwelling elderly Japanese sarcopenic women: A randomized controlled trial	J Am Geriatr Soc	60(1)	16-23	2012
Terabe Y, Harada A, Tokuda H, Okuizumi H, Nagaya M, Shimokata H	Vitamin D deficiency in elderly women in nursing homes: Investigation with consideration of decreased activation function from the kidneys	J Am Geriatr Soc	60(2)	251-255	2012
Iwasa H, Yoshida Y, Kai I, Suzuki T, Kim H, Yoshida H	Leisure activities and cognitive function in elderly community-dwelling individuals in Japan: a 5-year prospective cohort study	J Psychosom Res	72(2)	159-164	2012
Yoshida D, Shimada H, Harada A, Matsui Y, Sakai Y, Suzuki T	Estimation of appendicular muscle mass and fat mass by near infrared spectroscopy in older persons	Geriatr Gerontol Int	12(4)	652-658	2012
Kozakai R, Ando F, Kim HY, Rantanen T, Shimokata H	Regular exercise history as a predictor of exercise in old age among community-dwelling Japanese older people	J Phys Fitness Sports Med	1	1-8	2012